

平成27年10月14日

平成27年度病虫害発生予報第7号

長崎県病虫害防除所長

【予報の概要】

農作物名	病虫害名	発生程度	
		現況	予想
大豆	吸実性カメムシ類	並	並
ばれいしょ	アブラムシ類 ジャガイモガ ヨトウムシ類、オオタバコガ	並 並 少	並 並 やや少
いちご (本圃)	うどんこ病 炭疽病 (<i>G. cingulata</i>) アブラムシ類 ハダニ類 (注意報第2号) ハスモンヨトウ	並 並 やや少 多 並	並 並 やや少 多 並
ブロッコリー	コナガ ヨトウムシ類 オオタバコガ	並 並 並	並 並 並
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	やや少 やや少	やや少 やや少
かんきつ	緑かび病、青かび病 ミカンハダニ	並 並	並 並

【発生予報】 本文の () 内は平年値

大豆

1. 吸実性カメムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(9筆)の結果、寄生株率は2.4%(1.6%)、株当たり虫数は0.06頭(0.03頭)、発生圃場率は22.2%(21.2%)であった。

イ 10月3半旬の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、寄生株率は26.0%(41.5%)、株当たり虫数は0.52頭(0.73頭)であった。

ばれいしょ

1. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(20筆)の結果、寄生株率は0.6%(1.1%)、発

生圃場率は10.0%（18.0%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 本虫は塊茎えそ病などのウイルス病を媒介するので発生初期からの防除を行う。
- イ 下位の葉裏に寄生が多いので、薬剤散布は葉裏に薬液が十分かかるようにする。

2. ジャガイモガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

- ア 10月上旬の巡回調査（20筆）の結果、被害株率は2.0%（1.0%）、発生圃場率は15.0%（12.2%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 土中のいもが産卵を受けないよう土寄せを十分に行う。
- イ 圃場での発生に注意し、ヨトウムシ類と併せて薬剤散布する。

3. ヨトウムシ類（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ）、オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

- ア 10月上旬の巡回調査（20筆）の結果、発生を認めなかった（寄生株率5.2%、発生圃場率38.6%）。
- イ ハスモンヨトウのフェロモントラップ（諫早市）による誘殺数は、10月1半旬にピークが見られ、その後平年並で推移している（図）。
- ウ オオタバコガのフェロモントラップ（諫早市）による誘殺数は、平年より少なく推移している（図）。

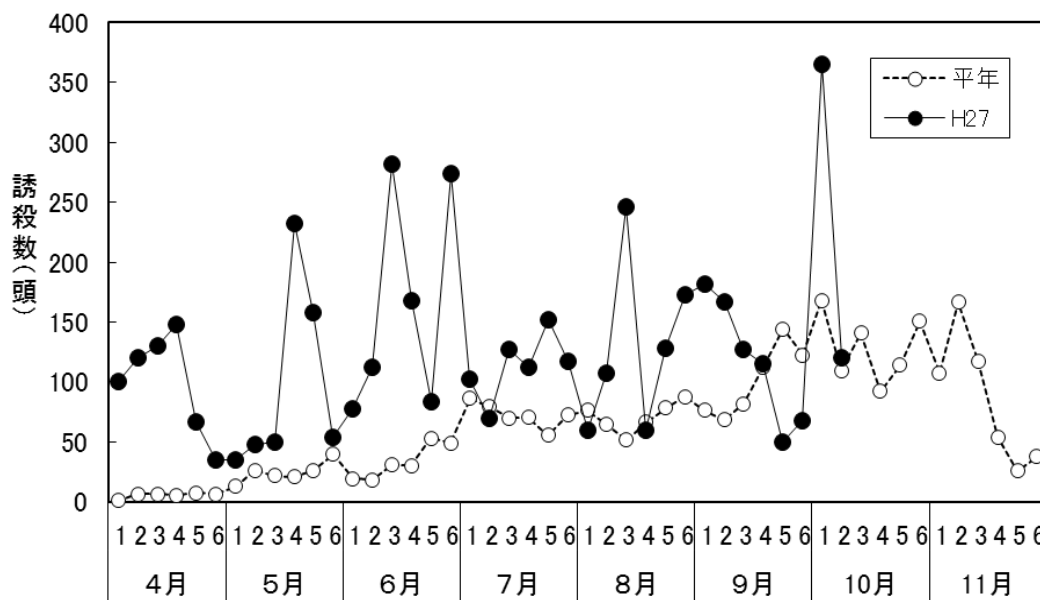


図 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越）（月・半旬）
平年：H17～H26年の平均値（最大・最小値除く）

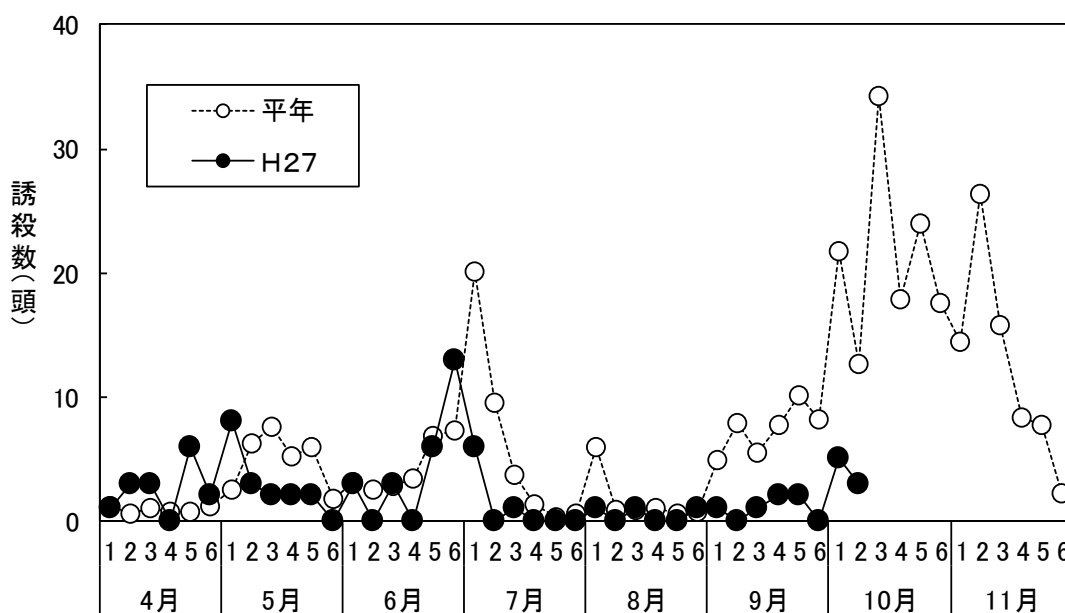


図 オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越町）
 ※H22より粘着板からファネルトラップに変更（月・半旬）
 平年：H17～H26の平均値（最大・最小除く）

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査（27筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.0%、発生圃場率0.4%）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 果実への感染を防ぐため、開花期までの予防散布に重点をおく。

イ 罹病葉や不要な下葉はできるだけ除去し、圃場外へ持ち出して処分する。

ウ 薬剤は、古葉等を除去処分した後に、葉裏や下位葉にもむらなくかかるように十分量を散布する。

エ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

2. 炭疽病 (*G. cingulata*)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査（27筆）の結果、発病株率は0.03%（0.1%）、発生圃場率は11.1%（7.9%）であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査（27筆）の結果、寄生株率は0.8%（2.2%）、発生圃場率は22.2%（22.3%）であった。

4. ハダニ類

平成27年10月14日付け**病害虫発生予察注意報第2号**による。

5. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

- ア 10月上旬の巡回調査(27筆)の結果、食害株率は5.6%(8.5%)、発生圃場率は48.1%(68.8%)、寄生株率は1.5%(2.3%)であった。
- イ ハスモンヨトウのフェロモントラップ(諫早市)による誘殺数は、10月1半旬にピークが見られ、その後平年並で推移している(ばれいしょの項参照)。

ブロッコリー

1. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

- 10月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は1.7%(過去8カ年平均3.3%)、発生圃場率は33.3%(過去8カ年平均28.1%)であった。

2. ヨトウムシ類(ハスモンヨトウ、ヨトウガ)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

- ア 10月上旬の巡回調査(12筆)の結果、ハスモンヨトウの寄生株率は0.3%(過去8カ年平均6.9%)、発生圃場率は8.3%(過去8カ年平均43.8%)であった。ヨトウガの寄生株率は7.6%(過去8カ年平均2.1%)、発生圃場率は33.3%(過去8カ年平均17.7%)であった。
- イ ハスモンヨトウのフェロモントラップ(諫早市)による誘殺数は、10月1半旬にピークが見られ、その後平年並で推移している(ばれいしょの項参照)。

3. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

- ア 10月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.3%(過去8カ年平均0.5%)、発生圃場率は8.3%(過去8カ年平均8.3%)であった。
- イ オオタバコガのフェロモントラップ(諫早市)による誘殺数は、平年より少なく推移している(ばれいしょの項参照)。

レタス

1. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

- ア 10月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率

0.7%、発生圃場率12.0%)。

イ ハスモンヨトウのフェロモントラップ(諫早市)による誘殺数は、10月1半旬にピークが見られ、その後平年並で推移している(ばれいしょの項参照)。

2. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率0.1%、発生圃場率2.8%)。

イ オオタバコガのフェロモントラップ(諫早市)による誘殺数は、平年より少なく推移している(ばれいしょの項参照)。

かんきつ

1. 緑かび病、青かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(36筆)の結果、発病を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率0.3%)。

2. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

10月上旬の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は2.4%(4.1%)、発生圃場率は30.6%(35.6%)であった。

【参考】

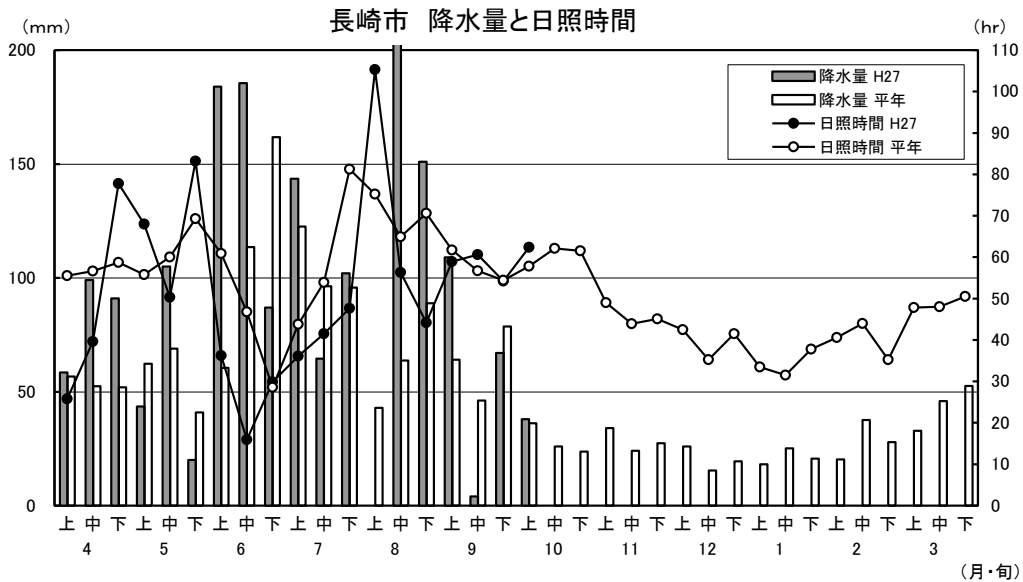
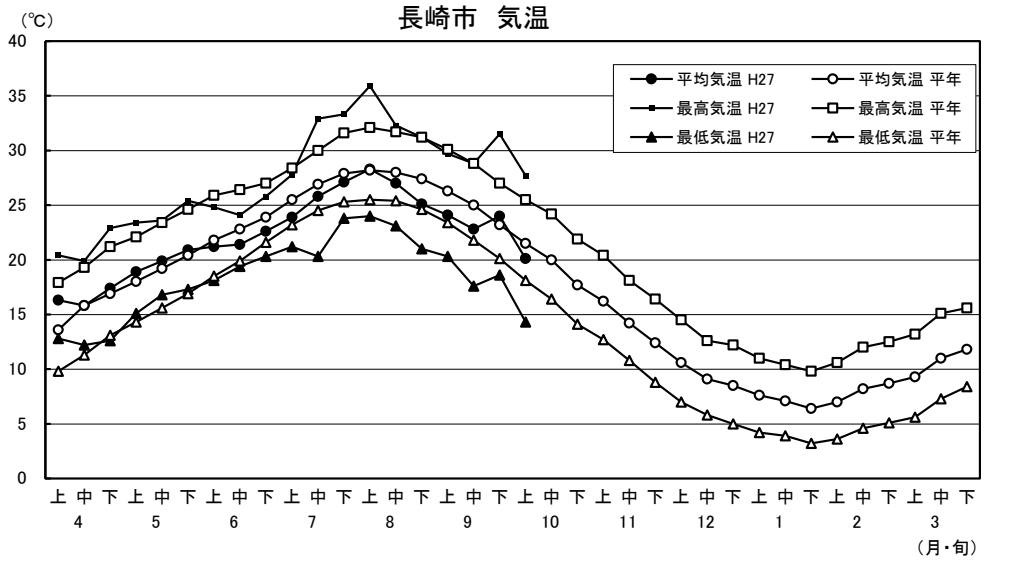
気象 (平成27年10月8日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	30	40	30
降水量	40	30	30
日照時間	30	30	40

※予報対象地域：九州北部地域

平成27年度の気象経過 (長崎地方气象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

